

■先送りと克服■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 256 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

256 目次

1. トピックス：令和 2 年度 チャレンジアシストプログラム

2. ブログから：先送りと克服

3. 今週のお誘いイベント

4. アクセスポイント：問い合わせ先

5. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. トピックス：令和 2 年度 チャレンジアシストプログラム

若者のグループが企画・提案するチャレンジな活動を支援。

優秀な企画・提案には、その実現に向けて、総額 100 万円を 5 グループ程度に助成します。

今年も僕が審査員を務めるので、ふるってご参加ください。

■応募資格

1.都内在住・在学・在勤いずれかの高校生世代からおおむね 30 歳以下の方が中心となって活動するグループ。

ただし、グループの代表者は 20 歳以上の者とする。

2.これから発足するグループまたは、発足して 3 年以内（令和 2 年 4 月 20 日までの時点）のグループ。

3.設立趣旨や活動内容が特定の政治、宗教、営利を目的とするなど、青少年の自立と社会性の発達を支援する本事業の目的から逸脱していないこと。

4.助成申請する活動は、グループ名、事業名、プランの概要等の公表を了承すること。

5.活動を実施する場所が主に東京都内であること。

■助成の対象となる活動

社会公益につながる活動とし、1~4 の内容を全て期待できると評価された活動の中から、青少年の健全な育成という本事業の趣旨に基づいて優先的に助成対象とします。

1.人とつながる活動(社会参加)

2.この社会をより良くしていこうとする活動（課題解決・社会への有益性）

3.新しい価値を生み出す活動（創造性）

4.継続性が期待できる、発展が期待できる活動（継続性）

■審査・助成の対象とならない活動

- 1.特定の個人又は法人その他の団体の利益を目的とする活動
- 2.宗教の教義を広め、儀式行事を行い、又は信者を教化育成する活動
- 3.政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対する活動
- 4.申請団体が実施主体ではない活動
- 5.反社会的な活動

以上の外、助成の趣旨に沿わないと判断される活動は対象外になります。

■日程

- ・第1次審査 5月23日(土)(書類審査)
- ・第2次審査 6月14日(日)(第2次審査 公開プレゼンテーション)
- ・活動期間 決定から令和3年2月28日(日)まで
- ・合同報告会 令和3年3月21日(日)

■事前説明会

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、説明会は電話での対応になりました。
- ・お電話はこちらまで TEL 03-3521-7323(直通) 担当:坪田

■お申し込み

専用の助成申請書に必要事項を記入の上、グループ紹介、活動内容の資料となる書類(A4版4ページ以内)を合わせて郵送で提出してください。

- ・助成申請書はこちらからダウンロードできます。
- ・募集要項はこちら

尚、応募は、1グループから1つとします。

提出していただいた助成申請書及び添付書類はお返ししません。予めご了承下さい。

■応募締切 4月20日(月)【消印有効】

■申込・お問合せ

担当・坪田：BumB 東京スポーツ文化館 社会教育セクション
〒136-0081 東京都江東区夢の島 2-1-3
TEL 03-3521-7323(直通) FAX 03-3521-3506
E-mail:bumb@partners1.co.jp

.....

2. ブログから：先送りと克服

ついに東京オリンピックの延期が決まった。

このまま開催にこだわって、コロナ対策を躊躇したり、結果的に中止を招くよりは良かった・・・と誰もが言う。

その直後、小池都知事が首都東京のロックダウン(都市閉鎖)を高く掲げ、「ロックダウンを招かないための外出自粛を強く要請する！」と声高に叫び始めた。

もちろんこれは、都内での感染者数がいきなり増加を始めたことを受けての表明であり、むしろ遅かったくらい
の賢明な措置だ・・・と誰もが言う。

いま、新型コロナウイルスの感染拡大を抑止するには、この「誰もが言う＝コンセンサス」が大切なのはよくわ
かる。

だが僕の心の中で強く頭をもたげる「釈然としないモヤモヤとした思い」もまた、誰もが感じているのでは。
これは「問題は何も解決していない」という「未解決感」ではないだろうか。

・

オリンピック延期の理由を、安倍首相は「完全な形での開催のため」と言っている。

すでに聖火リレーなどのスタートが危ぶまれ、予定通りの開催が困難なことは誰の目にも明らかだ。

したがって、この中止理由が賛同を得るのは「当たり前なこと」を言っているに過ぎず、だれも反対できないか
らだ。

首相は胸を張って「延期することで中止を回避した」と胸を張るが、それは絶対に違う。

「延期」は「開催を先送り」しただけでなく、同時に「中止も先送り」したに過ぎない。

「来年夏」と開催期限を設け、「今月中に新たな日程案を提示する」と行動期限を明示することで、あたかも前進
しているように説明するが、それは「先送りの実現」に過ぎず、中止の回避はできていない。

オリンピックの実現＝中止の回避には、コロナ騒動が沈静化して世界が平常に戻ることだ。

・

IOCのバッハ会長は、オリンピック延期を発表する会見の最後をこう締めくくった。

「いま全世界の人類が暗いトンネルの中にいるが、オリンピックの聖火をそのトンネルの出口を照らす光にした
かった。東京オリンピックは人類がいまだかつてない難局を乗り切ったお祝いの場となる。世界の団結の象徴に
しよう」

僕が素晴らしいと思ったのは、この言葉がオリンピックでなく、世界の団結を賛美しているから。

この難局を乗り切ったお祝いの場となることこそが、オリンピックの価値となるわけだ。

つまり、今こそ東京は、世界の先頭に立って新型コロナウイルスのパンデミックに立ち向かい、克服を果たさな
ければオリンピックができないことになる。

・

そもそも僕は、単なる民間スポーツイベントに過ぎないオリンピックに、これほど多額の税金と労力をつぎ込む
ことに、まるで懐疑的だった。

だが、今回の延期に際し、バッハ会長の言葉を聞いて、急にオリンピックが好きになった。

新型コロナウイルス克服記念パーティとして、世界が祝うオリンピックを東京でやるのなら、それはホントに素
晴らしい。

大切なのは、オリンピックの日程や段取りなどでなく、世界がどうやってコロナウイルスを克服するかとい
うことだ。

それは、このウイルスを天然痘ウイルスのように死滅させることなのか、インフルエンザのようにワクチンや特
効薬を開発することなのか、毎年新たなウイルスが現れても対処できる世界を作ることなのか。

経済の破たん、医療の崩壊、そして自分を含む身近な人々の死という深刻な問題の先送りだけでなく、問題に対
峙し克服したいと僕は思う。

<http://nanoni.co.jp/20200329/>

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

3. 今週のお誘いイベント

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れできます。

★参加可能：あなたも参加可能な予定です。

△同席不可：予定の前後は面談可能です。

▲留守不在：すみません、留守のためお許しを。

.....

(月) 03/30 ◎作業日 10-21 時 面談可 (青葉台)

(火) 03/31 ◎作業日 10-21 時 面談可 (青葉台)

(水) 04/01 ◎作業日 10-21 時 面談可 (青葉台)

(木) 04/02 ◎作業日 10-21 時 面談可 (青葉台)

(金) 04/03 ◎作業日 10-21 時 面談可 (青葉台)

(土) 04/04 ○作業日 09-17 時 面談可 (笑恵館)

10-17 時 ★地主の学校_10・まつむら塾 (笑恵館)

(日) 04/05 ◎休業日 09-18 時 面談歓迎 (青葉台)

■その後の予定

04/07 10-12 時 ●いづみプロジェクト (反町)

04/09 16-17 時 ★日本土地資源協会経営会議 (笑恵館)

04/09 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

04/10 19-21 時 ★カプラー起業交流会 (三茶)

04/11 10-17 時 ★地主の学校_1・まつむら塾 (笑恵館)

04/16 10-20 時 ★なるほどデイ・持ち寄り食事会 (笑恵館)

04/18 10-13 時 ★地主の学校_2・まつむら塾 (笑恵館)

04/23 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

04/23 10-12 時 △HFA 定例会議 (渋谷)

04/25 10-12 時 ★地主の学校_9・まつむら塾 (笑恵館)

04/26 10-14 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 4 月例会 (飯能)

04/28 19-21 時 △笑恵館入居者食事会 (笑恵館)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>